

都市内干渉評価システム

ビルの林立する都市部で無線リンクの干渉を評価するため、地形とビル形状の三次元データベースを構築し、計算幾何アルゴリズムによる伝搬パス解析と電波の反射・回折モデルを組み合わせた計算機ソフトウェアを1994年（平成6）に開発した。ワークステーション上で動作するこの都市内干渉評価システムは、計算機技術を用いて無線リンクの設計を行う新しいアプローチを提供するもので、加入者無線の置局設計やTV受信用地球局における干渉評価などに利用された。

出典：KDD 社史